



いまこそ集落創生

第12回 小蟬地区



【上段】冬の小蟬地区。写真右奥の白く染まる高堂山の麓に集落がひろがる 【下段】（左3枚）山の神様。何十年前から木彫り人形をお供えし、農家の無事故を祈願（右2枚）大明神様。豊作と無病息災を祈って鎌とわらじを奉納

町中心部から北へ約6km、中田春木川沿いに集落を形成している小蟬地区。約15世帯、男性30名・女性31名の総勢61名が暮らす高堂山の麓の小さな地区です。「中田小学校が残っていた頃は、地域全体で10名以上の児童がいた。その子らも今では高校生や大学生。賑やかな時期が過ぎ、寂しく思われることもある」と千川原正弘区長は感慨深げに話します。

「人口は減少しているものの、地区に古くから伝わる行事や神様は宝物」。続けてそう話し、地区住民に長く愛されてきた「山の神」と「大明神様」を紹介してくれました。昔は秋田県から訪れた人が、その通り道にお参りをしたそう。その証拠に大明神様の祠を建設した際、秋田県の多くの参拝者から有志をいただいたとの記録が残っているそうです。「山の神は山仕事や農家の無事故を祈願するものとして、大明神様は豊作と無病息災を祈るものとして、みんなで大切に保存していく」と決意を語ってくれました。

小蟬地区は中田地域を構成する5地区のひとつ。今、中田地域公民館長連絡協議会会長でもある千川原区長は、NPO法人なかだ倶楽部と協力しながら小蟬はもろん地域全体のこれからの在り方を考えています。「中田により活気を生みだすために、様々な方面から模索中だ。安心、安全に暮らすことができて、幸福感のある地域が重要。人口減少とともに増えている空き家の活用や地域資源を活かした産業の創造など、考えていることはたくさんある」と未来の地域づくりに熱がこもります。行動しなければ変わらない——。小蟬地区は集落創生に向け、大きく動き出そうとしています。

金山町の人口は、5,524人（1月末現在）

男性 2,683人（-17）
女性 2,841人（-5）
世帯数 1,761世帯

▼1月の異動
出生 0人
死亡 15人
転入 6人
転出 13人

編集 幸記

▼町公式ホームページをリニューアルし、3月1日に開かれました。本号13ページでポイントを整理していますが、この場を借りてごだわりを紹介させていただきます。
▼意識したのは何といたって使いやすいです。以前は「とにかく使いにくい」とのお叱りもしばしば。情報が整理されていない点が原因と考え、知りたい情報を視覚的に得られるデザインにしました。こんな情報載せてほしいなどの要望があれば気軽に寄ってください！（一休）